（文教はぐくみ委員会資料）

令 和 ８ 年 １ ０ 月
子ども若者はぐくみ局

議第９３号「指定管理者の指定について（こども本の森京都）」参考資料

１　施設の概要

⑴　所在地

京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町５５３番地

⑵　施設規模等

構　　造　木造、一部鉄骨造平家建て（予定）
床 面 積　約６００平方メートル
敷地面積　１，２６８．２７平方メートル

２　指定期間

令和９年１２月１日から令和１３年３月３１日まで

３　指定候補者の概要

団体名（代表者名）	株式会社ふたば書房（代表取締役 洞本 昌哉）
主たる事務所の所在地	京都市上京区千本通上立売上る作庵町５０７番地
設立年月日	昭和３５年９月１５日
現在の資本金	金１，０００万円
事業概要	書店運営、雑貨店運営、絵本カフェ運営、教科書販売、雑貨卸売
役員	代表取締役　洞本昌哉 取締役　洞本昌男、吉田雄一朗 監査役　洞本邦男
他の本市施設での指定管理の実績	なし

４　事業計画及び収支計画の概要

⑴　事業計画の概要

ア　運営実績

昭和５年の創業以来、京都市内を中心に書店業を営み、各店舗での選書・棚づくりのほか、絵本の読み聞かせやワークショップ等の店頭企画を継続的に実施している。

また、代表者が絵本専門士の資格を有しており、京都市内で運営している絵本カフェでは、その専門性や人的ネットワークを選書や店舗運営に反映させているほか、絵本の普及や子どもたちの読書活動の推進に貢献している。

イ　運営方針

本との出会いを通じて子どもたちの知的好奇心を育み、自由な発見や創造につながる「学びの場」、「居場所」としての役割を大切にする。

また、元明倫幼稚園という、地域の皆様に見守られながら子どもたちを育んできた歴史ある場所であることも十分に配慮し、その価値を継承しながら、地域とともに成長する施設運営を目指す。

さらに、地域特性を踏まえ、明倫学区、京都芸術センター、大学等の外部連携を進め、多様な学びや体験の場を提供する。

こども本の森京都を、本を中心に、地域、大学、文化芸術がつながる「明倫の寺子屋」として育て、子どもたちの豊かな感性と未来を創造する力を育む施設運営に取り組む。

ウ　事業計画

（ア）安心して過ごせる居場所づくり

○　「管理する」だけでなく「見守る」という視点を持って運営

（イ）知的好奇心を刺激し、感性をはぐくむ空間

○　「子どもの好奇心の道筋」に沿ったテーマを設定し、専門性を持った選書委員会による厳選した本を配架

○　子どもが自らの意思で「見つけ・触れ・見る／読む」といったプロセスを大切にした配架や動線

○　１か月に１回以上は蔵書構成の見直し、新規購入計画、テーマ企画展を実施

（ウ）本物（ほんまもん）との出会いの場の創出

○　子どもたちが職人、芸術家、研究者など多様な「学藝」の担い手と触れ合う機会を積極的に創出

○　伝統工芸士やアーティスト、学藝衆（明倫学区）を招いたイベント・ワークショップの開催時期に合わせ、関連する本（伝統工芸の関連書、京都の祭礼に関する写真集、招聘ゲスト）を子ども向けに特集展示

○　明倫学区を中心とした市内の山鉾町・伝統工芸に関連するコーナーを常設展示

○　山鉾の懸装品の意匠をテーマにしたうちわの絵付け・ポストカード制作やミニ山鉾製作体験

○　京都伝統こども体験（西陣織の機織り体験、京友禅の型染め体験等）

○　地域を知るおはなし会

（エ）地域コミュニティとのつながり

○　地域の方々を「利用者」としてではなく、施設をともに育てる「担い手」の一員として迎え入れ

○　明倫学区の年中行事（祇園祭等）の紹介や、明倫学区自治連合会の選書で構成した「明倫学区のみんなの本棚（仮称）」といった、地域に根ざしたテーマ展示又は本棚の設置

○　子どもや保護者、地域住民の声として、アンケートとともに本のリクエストを受け付ける専用ポストを設置

○　明倫地区に残る昔の写真を収集・整理し、現在の同じ場所から撮影した写真と組み

合わせ、過去と現在の変化を感じることができる写真展（明倫いまむかし展）を開催

○　明倫学区自治連合会との定例連絡会（月１回）を開催し、地域からの情報・要望、施設利用予定、イベントや展示等について情報共有を実施

（オ）本の選書方針・配架方法

○　子ども自身が自由に館内を巡り、自らの意思で「見つけ・触れ・見る／読む」といった配架や動線

○　単に蔵書数を確保することや、図書分類（日本十進分類法等）に沿って配架するのではなく、「子どもの好奇心の心理と道筋」に沿ったテーマ設定

○　書架を単に「本を整理・保管する場所」ではなく、「子どもたちの興味や創造力を広げる場所」と位置付けた選書・配架設計

○　児童サービス担当（司書資格保有者）、絵本専門士資格を有する職員、統括管理責任者で構成する選書委員会を設置

○　４つの選書基準

①企画設計…ビジュアル・文字の読みやすさ・造本（紙質、製本、装丁）の水準が高く、繰り返しの利用に耐えるもの

②多様性　…性別・文化・家族といった多様性が自然に描かれている本。外国にルーツがある子ども、障がいのある子どもでも楽しめるバリアフリー要素

③継続性　…一時期の流行に偏らず、世代を超えて読み継がれてきた作品であり、現代的な新刊とのバランスを保っている内容

④京都関連…京都の歴史・伝統文化・伝統工芸・年中行事（祇園祭等）を扱った本、京都ゆかりの作家・画家による作品

○　子どもの興味・関心の広がり方に沿った独自のテーマで配架・ゾーニング

○　ジャンル（絵本／図鑑／写真集／読み物）の垣根を越え、１つのテーマの中に複数ジャンルの本を混在させ、本と本との間に思いがけない出会いやつながりを発見できるような仕掛けも導入

○　各テーマの書架や什器には、テーマ名を象徴する簡単なピクトグラム（絵記号）を添え、文字がまだ読めない子どもでも直感的にテーマを識別できるような案内サイン、仮設ＰＯＰなども設置

エ　運営体制

○　業務の専門性・継続性が求められる業務には正規職員・契約社員を配置し、来館者対応など繁閑の変動が大きい業務には非常勤職員・臨時職員を組み合わせることで、サービスの質を維持しつつ、効率的な人員配置を実施

○　開館日・開館時間帯を問わず一定の人員が確保できるよう、シフト制を導入し、統括管理責任者及び統括管理副責任者が常時いずれか一方は勤務する体制を構築

（配置予定スタッフ）

統括管理責任者１名（司書の有資格者）、統括管理副責任者（責任者代行）１名、選書担当・児童サービス２名（司書の有資格者）、施設保全・維持管理担当２名、地域連携・広報担当１名、受付・安全管理・危機管理担当３名、総務・経理担当１名

オ　入館計画等

○　９０分完全入替制による運営（９０分利用＋３０分入替準備）

○　４種類の予約受付方法（窓口、電話、オンライン、事業者が運営する京都市内全店舗）

○　職員スタッフは「管理者」ではなく「見守り手」であるという考え方を基本とし、子ども自身の自由な過ごし方を尊重しながら、必要な時には適切なサポートを実施

カ　施設管理等

○　日常的な点検・見守り体制の構築、職員間の情報共有、緊急時対応フローの整備、万が一に備えた職員の訓練等を行うことで、安全安心のある事故防止の管理体制を確立

○　園庭や坪庭等の空間を景観要素として捉えるのではなく、子どもたちが季節の変化や自然の魅力を感じることができる「小さな自然体験の場」として管理

○　歴史ある建造物への清掃上の配慮として、木材を傷めないよう自然由来の洗浄剤を使用

○　利用する子どもへの配慮として、使用洗剤は低刺激のものを選定し、清掃中は薬剤の保管・管理を徹底し、子どもの手が届かない場所で作業

キ　自主事業

○　軽飲食の販売

○　来館記念となるオリジナルグッズの制作及び販売

○　安藤忠雄氏関連グッズの販売

○　選定した書籍の新刊、知育玩具、絵本キャラクターグッズの委託販売

○　幼年誌・育児雑誌の定期購読販売

○　「ほんまもん」の委託販売（作家イベント・サイン会用の書籍販売、作家所有の作品販売）

○　有償イベント「おとな本の森」

○　自主事業により生じた利益の品目区分に応じた割合の京都市への納入

ク　市内中小企業等

○　再委託が必要な業務の入札・発注に当たり、地域経済の振興の観点から市内中小企業を優先

○　複数の市内事業者から見積りを取得し、価格・実績・地域貢献度を総合的に評価したうえで選定

⑵　収支計画の概要

（単位：円）

		令和９年度 ※４か月	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度
収　入	指定管理料	25,199,042	75,597,120	75,597,120	75,597,120
	収入合計	25,199,042	75,597,120	75,597,120	75,597,120
支　出	総人件費	13,879,040	41,637,120	41,637,120	41,637,120
	光熱水費	920,000	2,760,000	2,760,000	2,760,000
	事業費	10,400,002	31,200,000	31,200,000	31,200,000
	支出合計	25,199,042	75,597,120	75,597,120	75,597,120

５　選定の概況

⑴　応募団体及びこども本の森京都指定管理者選定委員会による評価

応募 団体数	応募団体名 （五十音順、太字が指定候補者）	選定委員会による評価
2	**・株式会社ふたば書房** ・ＴＲＣ　＆　大林Ｆ　meet　ＢＡＣＨ	以下のとおり、こども本の森京都指定管理者選定委員会（以下、「選定委員会」という。）から意見を聴取し、この意見が相当であると判断したため、応募団体のうち株式会社ふたば書房を指定管理者となる団体として選定した。 （選定委員会の評価） ・京都市内で長年培ってきた書店業のノウハウや地域と連携しながら絵本をめぐる活動を推進してきた実績を踏まえ、事業や施設管理の計画がされており、評価できる。 ・代表者が絵本専門士の資格を取得し、絵本カフェを運営するなど、こども本の森京都の指定管理者としての適格性及び能力は十分に認められる。 ・施設の設置場所となる明倫学区の歴史や現状について把握するための努力がされており、評価できる。 ・地域コミュニティと対話的に運営を行うための体制づくりを具体的に計画し、地域の活性化、文化拠点としての「こども本の森京都」を創ろうとする意欲が感じられ、大きな期待が持てる。 ・京都のこと、地元のこと、子どものことをよく理解された取組内容で、伝統ある場所での今後が楽しみになる。 ・施設が歴史ある建築物であることや利用対象が子どもであることを踏まえた維持管理方法が計画されており、評価できる。

⑵　審査結果一覧（五十音順、太字が指定候補者）

審査項目			配点	**株式会社 ふたば書房**	ＴＲＣ ＆大林Ｆ meet ＢＡＣＨ
指定管理者としての適格性	財務状況		１０	**６．０**	７．７
	法令順守		５	**４．３**	４．３
	実績		５	**３．２**	４．７
事業運営に関する計画	事業計画	①安心して過ごせる居場所づくり	１０	**７．５**	８．３
		②知的好奇心を刺激し、感性をはぐくむ空間	１０	**７．５**	８．０
		③本物（ほんまもん）との出会いの場の創出	１０	**８．０**	７．５
		④地域コミュニティとのつながり	１０	**７．５**	７．５
		⑤選書方針・配架方針	１０	**７．３**	７．８
	運営体制		１０	**７．３**	７．５
	入館計画等		１０	**７．８**	８．０
	施設管理等		５	**４．０**	３．８
	自主事業		５	**４．３**	４．０
	市内中小企業等	京都市の区域内に本店又は主たる事務所を有するか	５	**４．８**	０．３
		市内中小企業への発注に対する考え方が示されているか	５	**４．２**	３．０
	効率的で適切な収支計画		５	**３．７**	３．７
価格			５	**５．０**	１．０
合計得点（審査項目の得点合計）			１２０	**９２．４**	８７．１
合計得点（百分率表示）※小数点第２位を四捨五入			１００	**７７．０**	７２．６

注　指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。